

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 藤本 範行  
副会長 松尾 正博  
幹事 中武 泰一郎  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテル泉屋 2F  
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4  
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第1918回 平成28年2月25日プログラム

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘        | 7. BOX披露   |
| 2. ロータリーソング   | 8. 各委員会報告  |
| それでこそロータリー    | 9. 会員卓話    |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間      | 11. 点 鐘    |
| 5. 幹事報告       | 12.        |
| 6. 出席報告       |            |

2730 地区ガバナー 野中 玄雄

中部分区ガバナー補佐 橋口 正樹  
RI テーマ 『世界へのプレゼントになろう』  
第2730 地区テーマ 『奉仕は力！活かそう例会』  
高鍋ロータリークラブテーマ  
『創立40周年へのプレゼントになろう』  
2月の月間テーマ  
平和と紛争予防/紛争解決月間

## 本日の例会案内

- \*会員卓話—甲斐英治君
- \*100万\$ランチ

## 次週例会案内；3月3日（1919回）\*米山ランチ

- \*月初めのセレモニー \*雑誌紹介
- \*クラブ研修会 \*会員卓話 \*理事会

## 第1917回 例会内容

### ■会長の時間

会長 藤本範行君

皆さんこんにちは。先週が建国記念日ということで、休会でしたから二週間ぶりの例会です。前回の例会で卓話をしてくれた三原君が決意通りに今日も早々に来て来てくれています。これまで昼間の現場が忙しくて手が離せなかったらしいのですが、お父さん（前会員）が「オレも仕事を理由に休会ばかりでいやな思いをしていたから、お前は休むな。オレがその分をカバーしてやるから」と言ってくださったそうです。素敵な話です。嬉しいです。



この二週間の間にはお騒がせなことが沢山ありましたね。SMAPUの解散騒動、10年ぶりの日本出身力士の優勝、清原の覚せい剤使用問題、甘利大臣の辞任、ベッキー・さらには国会議員の不倫問題など、いずれもテレビ等で馴染みの人たちの報道で持ちきりでした。

さて、今月始めの理事会で、こんなことが話題に上がりました。ある理事が「ロータリーソングの『奉仕の理想』の中の歌詞について、高鍋RCでは〈御国に捧げん〉のところを〈世界に捧げん〉と歌っていますが、このままでい

いのでしょうか？他のほとんどのクラブでは御国に捧げんと歌っているし、40周年記念式典ではどう歌うのですか」と。理事会では、いろんな意見が出ました。

「御国」を「世界」に変えたいきさつや、これはおかしいという意見が出て、また元に戻そうとしたことがあったこと等々。その場では、SAAの岡島君が「私が調べてきて資料を皆さんに提供しますから、そこで皆さん方のご意見を聞いて結論を出してはどうですか」との提案が出されて収まりました。あれから考えました。この『奉仕の理想』は、作詞が前田和一郎で作曲が萩原英一しです。いつ頃できたのかと調べてみますと、昭和9年にさかのぼります。第6回70区大会が名古屋市で開催されたときに、村田ガバナーの提案で「英語のロータリーソングばかりでなく、日本語の歌を作って歌おうではないですか」との提案があり、満場一致で可決されたそうです。そこで翌年の京都大会に向けて京都RCの会長が、当時ソングリーダーを務めていた前田和一郎氏（前田工業化学薬品社長）に頼まれて、現在の歌詞が出来上がりました。「生業」とか「久遠の平和」という言葉は、古すぎるのではないかとクレームもあったそうですが、押し通されたそうです。彼が作詞した歌詞に東京RCの萩原英一氏が曲を付けられて誕生しています。昭和10年5月京都の朝日会館で開催された年次大会で『我らの生業』等とともに選考されて発表されています。その後戦争色は強くなり、そのため「御国に捧げん我らの生業」の歌詞は、どこのクラブに行っても好評であったそうです。戦前に発表されて以来

長くロータリーソングは作られていませんでしたが、戦後の昭和26年にRCの宴会の最後に歌う「手に手つないで」が作られています。前田さんが後になって書かれた『奉仕の理想』誕生の手記には、こう書かれています。「しかし、我が国は平和国家になったのだから、世界に捧げん我らの生業に訂正したいと思う」実は、前田さんは最初に「世界に捧げん」と書いておられたそうですが、「御国に」としなければこの曲は採用できないとの圧力がかかり、それに従わざるを得なかったという有力な説もあります。この手記を読んで、わが高鍋RCの先輩方は「御国」を「世界」に替えられたのでしょうか？私は「高鍋RCはとても妥当で前進的な変更をされている」と感心するのですが、理事会で出された疑問に対して、わが高鍋RCは、これを貫き通しますとあってよいのかどうか判断しかねています。野中ガバナーにも電話で相談させていただきました。色々やり取りをしましたが、最後は、「高鍋ロータリークラブのご判断と決定にお任せします」とのことでした。皆さんも次回審議する時まで、考えをまとめておいてください。お願いします。

■幹事報告<文書案内>

\*ロータリー・デーチラシ配布

日時 2016年4月10日(日)  
14:00~16:30

場所 宮日会館 11F

\*RYLA 開催案内

日時 2016年4月10日(日)  
10:00~17:00

場所 延岡市社会教育センター

\*台湾地震への義援金のお願い

\*第12回ロータリー勉強会の案内 (メ切4/15)

日時 2016年4月26日(火) 18:30~20:30  
場所 ホテルマリックス2階 参加費 500円

幹事 中武泰一郎君



■BOX披露

親睦勝活動委員長 岩切 洋君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

藤本範行君 米山奨学生の李垚君と西都RCの岩切君をお迎えして。卓話を楽しみにしています。

曾我部幸夫君 結婚記念祝ありがとうございました。これからは妻を大切にしていきます。



■出席報告

出席委員 小泉潔君

出席状況 (2/18)

会 員 数	46名
出席会員数	34名
ホーム出席率	73.33%
前々回修正出席率	84.78%



☆外部卓話

米山奨学生 李垚君

「ロータリーに感謝する私」

みなさん、こんにちは。

私は李垚(リ ギョウ)と申します。出身地は中国の遼寧省瀋陽市です。今年で26歳になります。現在は、宮崎大学工学研究科応用物理学専攻修士課程の2年です。現在は半導体の薄膜の製作と評価を研究しております。2016年3月に大学院を卒業する見込みです。内定先は京セラ株式会社です。来年の4月から技術者として京セラの半導体部署で働く予定です。みなさんぜひともよろしくお願い致します。



まず、私の出身地瀋陽の紹介を先にさせていただきますと思います。

瀋陽の市名は、「瀋水ノ陽」の意味で、市内の南部を流れる渾河の古名・瀋水の北に位置することから由来してきました。瀋陽市の常在人口は825万人(その中、都市部人口625万人)以前から東北地方の最大規模の都市であり、東北地方の経済・文化・交通および商業の中心地です。「一朝発祥の地、二代帝王の城」のように言われ、清の時代を中心とした遺跡が多数残っています。瀋陽の歴史は大変古く、7200年前には定住集落(新樂遺跡)があったことで知られています。その後はしばらく地域の重要地方都市的存在でした。中国の唐代は瀋州が置かれ、元代には瀋陽路、明代には瀋陽中衛が設置されました。瀋陽の経済は工業が盛んであり、市の郊外には多くの重化学工場が立ち並んでいます。瀋陽市内のみならず、その近隣都市圏は撫順の石炭・鞍山の鉄鉱石、やや遠いながら黒竜江省大慶市の油田などの豊富な資源を生かした一大コンビナートであり、20世紀後半の中国を工業面で支えてきました。しかし近年外資を導入した長江デルタや珠江デルタ地域の経済発展に比べ、瀋陽を始めとする満洲は取り残された感が否めません。このため中国政府は東北振興を旗印に東北開発を重点的に支援しており、瀋陽も近代都市に変貌しつつあります。中国最大のソフトウェア開発・ITサービス会社(東軟グループ)も本社を置いています。2003年の全市生産総額(GDP)は1,602億人民元で、全省の4分の1を占めています。

話がかかりますが、次に私は日本に留学した理由をご説明いたします。

私が日本に興味を持ったのは中学生のころにアニメとドラマを鑑賞してからです。父は親家で、私は中学校卒業してから、日本語を学べる高校に入りました。そのとき、高校卒業してから、日本に留学しようという決意をしました。高校二年生のとき、修学旅行で初めて日本を訪れました。そのとき、日本の治安や生活環境や教育制度などを大変感心しました。長崎では平和公園に行き、日本の歴史に触れることができ、国境関係なく平和の尊さを感じました。また、福岡でアサヒの工場を見学し、人工的ではなく、日本の機械化の発展の素晴らしさを知りました。その

後、九州大学のキャンパスを見学し、優秀な大学の先輩と交流することができました。そのとき、私は日本で生活することに憧れ、将来必ず日本の国立大学に進学したいと思うようになりました。高校の修学旅行をきっかけに、私の将来の目標も明確になり、さらに日本語の勉強に励んできました。そして、高校を卒業してから、高校の姉妹校である福岡の麻生専門学校に入学しました。専門学校では日本語を勉強しながら、数学や理系科目も自習し、念願の宮崎大学工学部に入学することができました。

宮崎大学に入学し、今年で六年目です。この六年間、現代技術の基礎知識を学び、機能性材料、半導体材料の開発分野の研究を行ってきました。また、現在は半導体の薄膜の製作や評価を行い、太陽電池の変換効率をさらに深める研究をしています。日本の半導体企業が世界でトップレベルということもあり、私は大学院を卒業後は日本の半導体企業に入社することが目標でした。今年就職活動で私は念願の電子部品企業京セラ株式会社の内定をいただきました。株式会社京セラ求める人材像のように、1)グローバルな視点を持つ人、2)大きな夢と高い志を持つ人、3)心を高める人になるというように、私はそのような人間になるために、自分の目標を立て、一日でも早く京セラに貢献できるように、就業までの期間も、一生懸命に努力して参りたいと考えています。私は日本人の根性と強い精神を大変尊敬しています。学生生活で学んだ知識を活かし、上司、同僚とともに根気強く社会に役立つ製品を作りたいと思っています。また日本語、中国語、英語なども活かし、日本の技術の発展をさらに世界の各国に認めてもらえるように、技術者として社会に貢献したいと考えています。

続きまして、私が大学で得られたものをみんなとシェアしたいと思います。

私は大学3年時から約二年間、宮崎大学約80人の中国人留学生の会長を務めました。九州内での国立大学のリーダーと協力し、学校間の行事を積極的に取り組みました。その中で、私が特に工夫した行事は他大学との交流活動です。どのようにすれば皆で楽しくコミュニケーションを取れるかをテーマに話し合いを重ねました。二年間でスポーツ大会やBBQの計画、ボランティア活動などを積極的に行いました。みんなの意見をまとめることが大変でしたが、私は会長として大学の留学生全員に参加する指示を出し、毎回のイベントに全員参加する目標を達成しました。私はこの経験を通して、リーダーシップをとり、責任感を持つことの重要性を学びました。学生生活で培った経験を活かし、社会人になったら、より一層、チームワークを大切に、一つ一つの業務に責任感を持って取り組んでいきたいと思っています。

一方、私は現在の研究室のゼミでの研究に力を入れて取り組んできました。修士課程に進学するあたり、自分がリーダーとして責任を持って研究を進めていくことになりました。実験では予想と異なるデータが出ることも度々ありましたが、そういった時はすぐに次の実験を行うのではなく、まずはその失敗の原因を考え、疑問に思っ

たその箇所は指導教員との打ち合わせを通して、徹底的に原因を追究する癖を付けました。また、他のテーマの仲間とも積極的に議論を重ね、効率の良い実験の進め方やお互いの研究に対する考えなどを意見交換することで自分の考えを客観的に捉えることができるようになりました。そういった積み重ねが功を奏したのだと思います。一つの区切りとして昨年の7月に行われた学会で発表することができました。学部時代では意識することはなかった「Plan-Do-Check-Act」のサイクルを修士になった今では、そのことを念頭に置いて行動するように心がけています。そして、私はロータリーについての理解を紹介したいと思います。

ロータリーは日本国内では民間最大の奨学金事業を行っています。この奨学金は1952年にロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉さんを記念するため、発足されたものです。この目的は国と国を結んで、国際平和を維持することです。ロータリーはこれまで18,000人以上の優秀な留学生を支援してきました。その支援の内容は留学生の夢の実現、また苦しい留学生生活を支えてきました。これは日本国内の留学生にとって、最高の経済的支援となっています。一方、現在ロータリアンたちは社会奉仕の精神で世界平和のために大きな貢献をしています。また、国際平和の推進、そして国際親善のために優秀な人材を育てようとしています。それと同時にロータリアンと奨学金によって支えられた仲間たちはロータリーの精神を確実に次の世代の人々に伝えています。これまでの留学生は世界との架け橋の役割をしてきましたが、このことの土台となりましたのは、ロータリーだと信じています。ロータリーの今年のテーマは「ロータリーに輝きを！」そして、宮崎や鹿児島といった地方では、「ロータリーデー」を開催し、多くの人々にロータリー精神を知ってもらおうという意図があります。私は現在ロータリークラブの一員といたしまして、ロータリーの精神を周りのお友達や広く人々に伝えたいと思います。

私は今年の4月からロータリークラブの一員として、毎月一回西都ロータリークラブの例会に参加してまいりました。最初は何事に対しても無知な私でしたが、ロータリーはどんなクラブなのかを徐々に理解するようになりました。ロータリーとは人道的な奉仕を行い、すべての職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、世界においては、親善と平和の確立に寄与するのです。ロータリアンと地域社会と密着した個人的な奉仕活動を促進するために、毎年、各地で交流活動が行われています。ロータリーの例会とは職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を計ることにあり、その結果として奉仕の心が育まれてくるのです。自己改善は終生続けられなければなりません。従ってロータリアンには定年はないし、ロータリー運動には終結もありません。これこそが正に、例会出席がロータリー・ライフの前提となる所以なのです。米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。

私は毎月の例会では、西都ロータリークラブの全員がみ



んな仲良く話し合い、対話を重ねながら、ロータリーの精神を伝えっているとすごく感じました。これは教科書に書いてある情報ではなく、今まで経験してきた中の情報、知識でのおかげだと信じています。こんなに素晴らしい話は、なかなか聞けないと思いました。私はいつの間にか、毎回の例会が楽しくなり、ロータリーの印象が大分変わりました。本当に西都ロータリークラブのみんなに感謝します。米山奨学金の面接した際から、ずっとお世話になっているうちのクラブの会長さん、野間会長は年齢も私の父に近いので、いつも父親のように、あるいは先生のように、いろいろ人生の経験を教えていただき、優しいお話をしてくださりました。心から感謝しています。

最後に、西都ロータリークラブに入って、いままで大変お世話になっている人は岩切カウンセラーです。私は毎月例会参加する際に必ず迎え送りをしてくれています。また岩切さん自分忙しい職業時間外でも、西都原古墳群や運動公園など地元の観光地に連れて行ってくれました。それだけではなく、地区大会のとき、「毎年ロータリーはこんなすばらしい集まりもあるよ」と私にロータリーのことをたくさん教えてくれました。ついこの前での宮崎県中部分区IM大会では、「毎回大会に参加したら、必ずロータリーから得ることがある」とおっしゃいました。毎回西都ロータリークラブに参加するたびに、岩切カウンセラーさんはロータリーの精神を私に伝えてくれたのは本当に心から感謝しています。私は本当に米山ロータリーに入ってよかったと思います。さらに、私は本当に西都ロータリークラブに入って、こんなにたくさんの優しいみんなと出会えて、一番良かったと思います。これからもみんなにお世話になっていると思いますので、今後ぜひともよろしく願いいたします。

最後になりますが、私はロータリーを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献したいと思います。今後もロータリー奨学生として、すべての人に感謝の気持ちを忘れずに、私の夢に向かって一生懸命、一步一步進んで参りたいと思います。夢を叶えるために、皆様からお聞きしたお話を、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。そして、いつの日か、必ず、皆様に恩返しできるよう頑張りたいと考えています。私は宮崎大学を卒業したら、来年4月から京セラの一員になります。これからも日々頑張っていきたいです。以上よろしく願い申し上げます。



西都ロータリークラブ  
岩切 昇君



副SAA  
高橋康朗君



石田喜克君



橋口清和君

『メイクアップしましょう』		
県内近隣クラブメイクアップ会場		
出席委員会		
月	宮崎南 宮崎東 日向	宮崎観光ホテル西館8階 ウェルシティー宮崎 喜重会館
火	日向東 宮崎 西都 都城北	はまぐり荘 宮崎観光ホテル ウェディングパレス敷島 都城ロイヤルホテル
水	日向中央 宮崎北 都城西 佐土原	はまぐり荘 ホテルマリックス ホテル中山荘 シェラトングランドオーシャン5階
木	宮崎中央 都城中央	サミット・クリスタルルーム ホテル中山荘
金	宮崎西 都城	宮崎観光ホテル メインホテルナカムラ

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1、真実かどうか
2、みんなに公平か
3、好意と友情を深めるか
4、みんなのためになるかどうか